

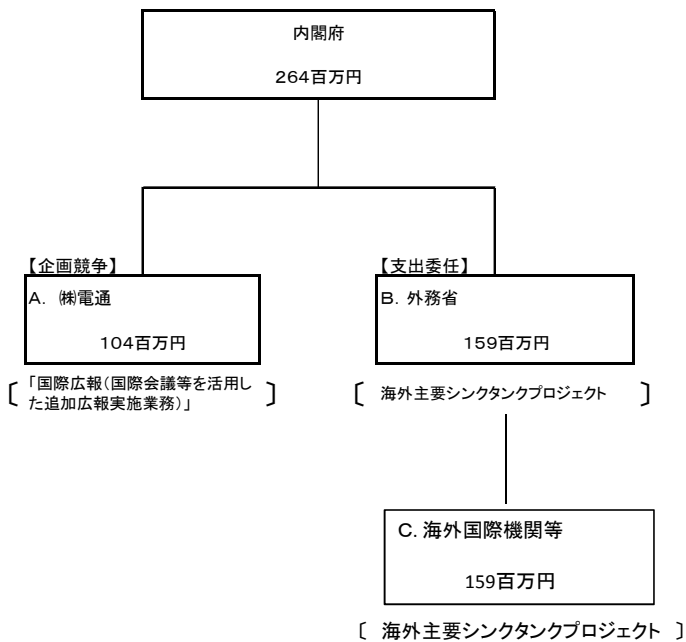
平成26年行政事業レビューシート

(内閣府)

<b>事業名</b>	戦略的広報経費（国際）		<b>担当部局</b>	大臣官房		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度・平成26年度終了		<b>担当課室</b>	政府広報室		官房参事官 金子正志		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	3 国際広報の強化（政策2－施策②）				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	内閣府設置法第4条第3項第38号		<b>関係する計画、 通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	日本経済の再生のため、我が国企業のグローバルな活動を推進していくためには、国際場裏での日本理解の促進と親日感の醸成が重要との考えに基づき、官邸を司令塔として民間の力も活用し、あらゆる広報ツールを通じた国際社会に対する日本の発信力強化により、我が国企業の安定的な海外ビジネス環境を確保し、競争力強化に貢献する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	国際社会における日本理解の促進と親日感の醸成により、日本企業及び日本市場の持つ強みの発揮と、ビジネス環境の整備・向上を促進し、我が国企業の海外展開や対日投資促進の機会の増大等を通じ、競争力強化を図る。 具体的には、①海外主要シンクタンクプロジェクト、②政府広報アプリ等による統一的な国際広報の強化、③ITを通じた国際発信力強化のための調査研究、④民間の力を活用した内外一体の情報発信、⑤海外テレビ、SNS活用等による国際広報の強化等の事業を想定。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	814	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	532	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	532	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	282	532	-	
		執行額	-	-	264	-	-	
	執行率 (%)	-	-	94%	-	-		
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)
	海外TVCM 実施回数	成果実績	回	-	-	184	408	
		目標値	回	-	-	150	184	
		達成度	%	-	-	122	221	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	海外TVCM等	活動実績	百万円	-	-	86	128	
		当初見込み	百万円	-	-	272	186	
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	海外TVCM 金額÷放映回数	単位当たり コスト	万円	-	-	47	31	
		計算式	/	-	-	86百万円/184回	128百万円/408回	
平成26・27年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	政府広報は、政府の重要施策について、広くその内容、背景、必要性等を知っていただき、それらの施策に対する理解と協力を得ることを目的としている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業者の選定に当たっては、創意工夫のできる企画競争を活用しながら調達しており、競争性を確保しつつ、経費の効率化に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	創意工夫のできる企画競争を活用し、効果測定も行いながら、官邸からの指示等を踏まえ、効果的な政府広報の実施に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	広報実施に当たっては、各府省とも調整の上、各府省が行う広報と役割を分担して実施している。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	契約に当たっては、上記評価を踏まえ、一般競争入札を原則として経費の効率化に努めるとともに、媒体横断的に効率的・効果的な広報が実施できるよう、主要な広報テーマについては広報戦略等に係る企画競争を実施し、広報効果の確保を図っている。また、実施した広報テーマについては分析を行い、PDCAサイクルの実施を基本に引き続き効果的・効率的な広報に努めている。				
	改善の方向性	平成26年度の重要事項に関する戦略的国際広報に今年度蓄積された知見を活用する。また、実施した広報については分析を行い、PDCAサイクルの実施を基本に引き続き効果的・効率的な広報に努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
特になし						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

(注)四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

A.株電通			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
制作費	TVCM動画制作	15.7			
出稿費	TVCMの海外メディアへの出稿	70			
出稿費	新聞への広告記事掲載	12			
制作費	新聞広告制作費	0.3			
制作費	核セキュリティサミット動画制作費	6			
計		104	計		0
B.外務省			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	海外主要シンクタンクプロジェクト	159			
計		159	計		0
C. 海外国際機関等			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	海外主要シンクタンクプロジェクト	159			
計		159	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱電通	「国際広報(国際会議等を活用した追加広報実施業務)」	104	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外務省	海外主要シンクタンクプロジェクト	159	支出委任	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	海外国際機関等	海外主要シンクタンクプロジェクト	159	—	—